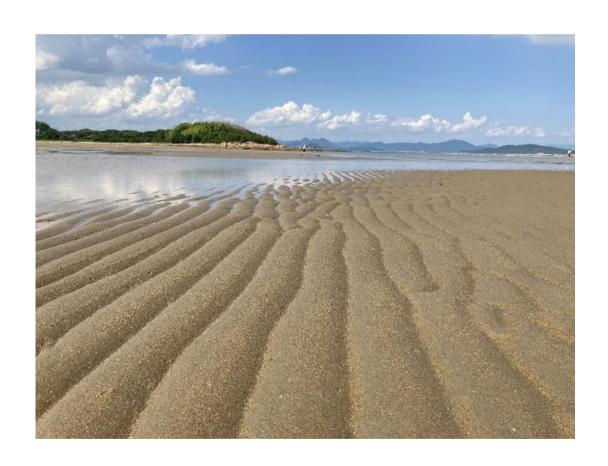
みずべ山口

令和4年3月 No.39



山口県瀬戸内海環境保全協会

表紙の写真

字部市 キワ・ラ・ビーチ 令和3年度「やまぐちプラスチックごみ削減フォトコンテスト2021」 景観部門 入選作品 撮影者 西嶋 利恵

皆様には、平素から山口県瀬戸内海環境保全協会の活動に御理解と御協力を 賜り、感謝申し上げます。本協会は、昭和56年2月の設立以来、お陰をもち まして、41年目を迎えることができました。

この間、瀬戸内海の豊かな自然環境や住みよい生活環境を確保するため、瀬戸内海の環境保全に関する意識の啓発や生活排水浄化のための実践活動、環境学習の支援など、地域に根ざしたさまざまな取組を積極的に展開してきたところです。

このような努力もあって、瀬戸内海の環境も水質については一定の改善がみられたところですが、一方で、栄養塩類の不足等による水産資源への影響、薬場・干潟の減少、海洋ごみの発生など解決しなければならない問題が山積しています。

こうした中、令和3年6月に瀬戸内海環境保全特別措置法が改正され、瀬戸 内海における生物多様性・水産資源の持続的な利用の確保を図るため、栄養塩 類管理制度の創設や自然海浜保全地区の指定対象の拡充などが新たに盛り込 まれたところです。

本協会におきましても、豊かで美しい瀬戸内海を再生・創造し、次代に引き継いでいくために、環境保全に関するさまざまな取組を一層推進していくこととしていますので、引き続き、本協会に対する皆様方の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げします。

令和4年3月

山口県瀬戸内海環境保全協会 会長 森友 信

	(株)ベルポリエステルプロダクツの環境保全活動 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
>	田辺三菱製薬工場株式会社小野田工場の環境保全への取り組み ····・・・・・・4 田辺三菱製薬工場株式会社小野田工場 管理部 総務人事課
>	美祢工場の環境保全活動について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
>	岩国市の水環境 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10 岩国市環境部環境保全課
>	光 市 の 水 環 境 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13 光市環境部環境政策課
>	平生町の水環境 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16 平生町産業課
>	きらら浜自然観察公園の新たな取組について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
>	第4次「山口県環境基本計画」の策定について ······22 山口県環境生活部環境政策課
>	令和3年度山口県瀬戸内海環境保全協会会長表彰受賞者・・・・・・・25
>	令和3年度山口県環境保全活動功労者等知事表彰受賞者 ・・・・・・・26
>	令和3年度「環境保全、リサイクル、省資源・省エネルギー」 ・・・・・・27 絵画・ポスター入賞者一覧、入賞作品
>	令和3年度環境保全標語入選作品、川柳入選句 ······30
>	環境学習教材利用案内 ************************************

(株)ベルポリエステルプロダクツの環境保全活動

(株)ベルポリエステルプロダクツ 環境安全課

1. 会社概要



当社は、総合容器メーカー「大和製罐株式会社」の関連企業として、そのグループの一翼を担う合成樹脂メーカーとして2005年に創業しました。山口県防府市が本社であり、唯一の工場になります。

知名度がなく、カタカナの長い社名のため、電話で社名を伝える時に大変です。その時は「ベル」「ポリエステル」「プロダクツ」と名前を切って伝えます。「ベル」は工場が立地している町名の鐘紡町から採っており、「ポリエステル」は製品の種類そのままです。

数あるポリエステルのうち、ポリエチレンテレフタラート樹脂 (PET 樹脂) の製造、販売、研究開発を行っています。その樹脂は主にペレット形状にてお客様へ出荷しています。

字数を稼ぐために、ここで少しPET 樹脂の宣伝をさせて頂きます。PET 樹脂は、その優れた特性から、繊維、PET ボトル、フィルム、シートなどの原料として幅広い分野で使用されています。具体的には化粧品容器やデジタル機器などにも採用されています。

PET 樹脂は回収・再利用がしやすく、燃やしても有毒ガスが発生しない私たちの生活にとってかかせない素材です。 PET 樹脂は多方面に使用され、環境上の問題からも今後ますます需要を高めていきます。当社は、独自技術による共重合 PET 樹脂の強化拡大を

重点的に図っています。

PET 樹脂の特徴を挙げますと、

- ①透明性に優れる (他のプラスチックに比べ透明性が優れています。)
- ②ガスバリア性に優れる(酸素、二酸化炭素、水蒸気等のバリア性に優れています。) ③耐薬品性に優れる(透明樹脂の中では非常に高い耐薬品性を持つ為、内容物による浸食を防げます。)
- ④非吸着性に優れる (ビタミンE などの成分の非吸着性に優れています。)
- ⑤安全性が高い(PET ボトルなどの食品包装用に適しています。)
- ⑥燃焼発熱量が低い(燃焼発熱量が少ない ため焼却炉を傷めません。)
- ⑦リサイクル可能(リサイクル可能で環境に優しいです。)

さて、当社の概要に戻りまして、従業員数は250名弱。16年前の創業時に70余名から始めたことを考えると増えたものです。

生産設備について、大手樹脂メーカーさんは大きなプラントにて連続生産ができる設備を有しておられますが、当社は殆どがバッチ生産設備になっており、少量多品種の生産に適しています。ただデメリットも多くあり、自動化が難しいというのが最大の欠点かもしれません。銘柄変更の際の洗浄作業、銘柄毎に異なる多種原材料、人の手に頼った箇所が多くあります。

2. 環境保全活動

特記することはないのですが、環境の会誌 のため環境保全活動の話もさせていただきま す。

(1) 水質汚濁防止

排出水としては、冷却使用された水を公共 用水域に排出しています。機械設備の冷却水 の他、PET 樹脂そのものを冷却するため使用し た水、この2種類が主な排出水となり、その ため排水処理設備は不要で有していません。

排出水の汚染防止としまして、油の流出を 防ぐ目的としての油分離槽を設置しています。

この油分離槽は工場規模としては大型で約40m×4m×2m。排水溝の最下流に位置しており、万が一の油流出に一役買います。排水溝には鯉を放流しており、従業員の目を楽しませています。偶にですがウナギも見かけ、どこから迷い込んだのかと不思議に思う次第です。

(2) 大気汚染防止

大気汚染防止法の対象となるボイラーが12 基あります。創業時に重油燃料の大型ボイラー6基を前身となる会社より引継いでいましたが、省エネと二酸化炭素削減の考えから都市ガス燃料への切り替えと一部小型ボイラーへの変更を行っています。その後、生産設備の増設があり、現在の台数になっています。

(3) 廃棄物削減

廃プラスチックが主な廃棄物です。他企業でも同様の事例があるかと思いますが、工程発生の不要プラスチックが一部売却できなくなり、排出抑制対策などしていますが産廃として処分しています。他、多品種生産の中にはリサイクルが難しい銘柄も増えて来ており、研究試験段階からリサイクルを考慮した製品の開発が課題となっています。

まさしく IS014001 のライフサイクル視点の 考慮です。

(4) 清掃活動

①工場前市道の清掃。6月と11月の年2回、 工場前の市道約400mを100名余の有志で歩道 を中心に清掃活動を行っています。工場隣に 大型商業施設ができ交通量が増えており、ア ピールにはなっているかと思います。



②桟橋周辺の漂着ごみ。原料の一部を専用桟橋から配管で受け入れており、専用桟橋周辺の護岸清掃を瀬戸内海環境保全月間の6月に実施しています。大潮の干潮時刻に50名程度の参加で、450袋で5~8袋程度の漂着ごみが集まります。プラスチック製品の物が多く、プラスチック製品製造の川上企業として思うところがあります。



3. 環境配慮製品

最近の特記事項としては、生分解性のPET 樹脂開発、植物由来原料のPET 樹脂製造です。

海洋プラスチック問題やマイクロプラスチック問題が取り沙汰され久しく経っていますが、当社でもこの分野の解決に向けて取り組んでいます。

4. カーボンニュートラル

正直な話をしますと、これまでは省エネを 中心に取り組んできており、二酸化炭素排出 について意識があまり向いていませんでした。

昨今の国連の話以外にも取引相手様からも 問い合わせが相次いでおり、当社でも重い腰 を上げ始めました。上流と下流を含めた現状 把握から始め、目標の設定と実現性など。環 境問題として大問題なのは当然ですが、ここ で出遅れると商売相手が居なくなってしまう ことも容易に想像できるため、若手を中心で 真剣に取り組んでいきます。

5. 異常時の対応

(1) 防災訓練

PET 樹脂の原料として危険物を扱っています。 そこで定期的な防災訓練や消火器訓練をしています。防災訓練後の反省会では毎回反省箇所が複数出され、まだまだ未熟な訓練と反省しています。また泡消火設備や粉末消火設備などの特殊消火設備も有しており、専門家による操作方法教育も定期で実施しています。

(2)漏洩事故訓練

危険物屋外タンクが20基あります。危険物施設であるため、施設点検を定期で実施し、 漏洩事故訓練は防災訓練とは別に課ごとに定期実施しています。当社の危険物の殆どが水溶性のため、防油堤で防げず公共水域に出た場合には回収が困難であるとの認識の下、緊張感をもって訓練を行っています。

(3) 安全活動

安全衛生パトロールは安全事務局と共に社長自らが毎月各職場を巡視しており、緊張感のあるパトロールを実施しています。新型コロナウィルスで2年実施できていませんが、AEDや心臓マッサージといった救命講習も、消防職員を迎え行っています。

リスクアセスメントは安全関連、化学物質 関連、危険物火災関連で実施しており、その 結果は毎月の安全衛生委員会において、他部 門との討議を通じ、更に有効なリスク対策を 講ずるようにしています。

6. おわりに

ざっくばらんな文書で読みにくかったと思いますが、最後まで読んで頂きありがとうございます。記事を書いていますと足らないことが多く見えてきました。他社にアピールすることが目的ではありませんが、その活動で結果が出ているか疑問なこともあります。創業17周年を2022年に迎えます。創業当時と比べ最近は特に環境分野の様変わりするスピードが速く、対応していけない企業は淘汰されていくことが容易に想像できます。今までは最低限、会社・工場の周辺のみを見ていれば良かった環境分野。企業責任が地域住民・お客様に対してものだったものが、地球環境というとても大きなものに変わってきました。

この記事を読まれているのは主に環境担当 の方々だと思います。大変な時期に担当にな りましたが、結果が出る活動なので一緒にが んばっていきましょう。



以上

田辺三菱製薬工場株式会社小野田工場の環境保全への取り組み

田辺三菱製薬工場株式会社 小野田工場 管理部 総務人事課

1. 工場概要

当社は、三菱ケミカルホールディングス (MCHC) グループのヘルスケア事業を担う田 辺三菱製薬 (MTPC) グループの医薬品製造会 社であり、「医薬品の製造を通じて、世界の人々の健康に貢献します」という企業理念のもと企業活動を続けています。小野田工場は1925年(大正14年)に操業開始し、間もなく操業100年を迎える歴史ある工場です。この2021年10月には田辺三菱製薬グループの新研究棟が稼働し、新しい技術やモダリティに対応した技術拠点への転換を図っています。



小野田工場全景



新研究棟(CIL*)

* Chemistry, Manufacturing and Control Innovative Laboratories

2. KAITEKI Value for Tomorrow

当社が所属するMCHC グループは、環境・ 社会課題の解決にとどまらず、社会そして 地球の持続可能な発展に貢献すること、す なわち「KAITEKI 実現」をビジョンに掲げて います。KAITEKI とは、「人、社会、そして 地球の心地よさがずっと続いていくこと」 を表します。

MCHC グループは、①資本の効率化を重視する経営、②イノベーション創出を追求する経営、③サステナビリティの向上をめざす経営という3つの経営から生み出される価値の総和を「KAITEKI 価値」と名付け、環境・社会課題を起点に、ソリューションを提供し、収益力を向上させるという「KAITEKI 経営」を実践しています。

MCHC グループのすべての活動が、この KAITEKI 価値の向上をめざして行われ、この 価値を向上させることが、MCHC グループが ステークホルダーの皆さまとともに発展し、 かつ持続可能性のある状態の創造、つまり KAITEKI 実現に通じる、という強い思いのも と、企業活動を推進しています。

3. サステナビリティへの取り組み

MTPC グループは、創業以来 300 有余年に わたる歴史とフロンティア精神のもと、「病 と向き合うすべての人に、希望ある選択肢を。」 という MISSION を普遍的な価値観として定め、 この理念の実現こそが社会的使命であると とらえています。

また、国連サミットで採択された持続可能な開発目標(SDGs)をはじめとして、地球

全体で団結して環境・社会課題を解決していくという考え方が広がり、サステナビリティの追求が加速しているため、MTPC グループは時代とともに変遷する社会の課題と要請を把握し、的確に対応することが責務であると考えています。

気候変動問題にも積極的に取り組むため、MTPC グループは 2021 年 1 月に気候変動イニシアティブ(JCI)に参加しました。また、JCIから日本政府に向けた「2030 年の温室効果ガス排出削減目標と再生可能エネルギー電力目標の引き上げを求めるメッセージ」への賛同を表明いたしました。

4. 環境マネジメント

小野田工場は、1998年に環境マネジメントシステムの国際認証規格である IS014001 の認証を取得し、適切に運用しています。

1) 温室効果ガス排出量の削減

気候変動の緩和に向けて、エネルギー使用 量削減とフロン類漏えい防止による温室効 果ガス排出量の削減を推進しています。

最近稼働した新研究棟においては、高遮熱・高断熱Low-Eガラス、高効率空冷ヒートポンプモジュールチラー、地中熱利用(ピット)や外調機の外気冷房を採用し、省エネルギーを進めています。また、省エネキャンペーンを展開して社員への啓発を行うとともに、未使用時の消灯や機器類の電源オフを推奨するなど、日頃の省エネルギー活動を行っています。

オゾン層破壊と温室効果作用を示すフロン類の漏えい防止にも努めており、2020年改正フロン排出抑制法に従い、設置されているフロン類充填機器は台帳を用いて適正に管理しています。フロン充填機器を新設する場合は、温暖化係数と省エネ性能を考慮して機種を選定しています。



新研究棟(CIL)の屋上

2) 廃棄物の適正管理と削減

排出事業者として廃棄物収集運搬・処理委託契約の締結、電子マニフェストの運用、処分委託業者の現地確認等を適正に実施・管理しています。特に廃棄物の処分委託業者については、再資源化を積極的に実施している業者を選定し、契約締結前に現地確認を実施し、処分委託の可否を評価しています。

また、ペーパーレス化を推進しており、 2020 年度は新型コロナウイルス感染拡大に よりテレワークが浸透したこともあり、前年 度比17%の使用量削減に繋がりました。アフ ターコロナにおいても、ペーパーレス化には 引き続き取り組んでいきます。

3) 水質汚濁の防止

製造過程で発生する有害物質等は廃棄物 として処理することで、排水への混入を可能 な限り抑制しています。また、排水は放流前 に浄化処理等を行うことで、排出基準を遵守 しています。



汚水処理施設(上空写真)

小野田工場においては、排水のpH、COD、 窒素、リンについて連続測定を実施し、も し異常を検出した場合には、瞬時に公共用 水域への放流を停止して予備貯槽へ送水す る措置も講じています。

5. 地域社会とともに

当社は事業による社会への貢献に加え、 良き企業市民として、地域社会やコミュニ ティとの共生を図り、その発展に寄与してい きます。

1) 美化・清掃活動

「瀬戸内海環境保全知事・市長会議」主催の3000万人瀬戸内海クリーン大作戦に賛同し、工場の前を流れる有帆川周辺の清掃活動を実施しています。その他、「小さな親切」運動主催の日本列島クリーン大作戦等の地域の美化活動にも積極的に参加しています。



3000 万人瀬戸内海クリーン大作戦

2) 衛牛環境の向上

2020年より、日本も新型コロナウイルス感染症の猛威にさらされ、感染防止対策として共用部分(ドアノブ等)の消毒が有効とされました。消毒液が品薄状態で入手が困難な時期に、消毒効果のある微酸性電解水を地元商工業者等へ無償提供し、地域の衛生環境向上に尽力しました。

また、前年に続き、2021年12月にも工場 近隣の335世帯に感染防止対策グッズ(ディ スポーザブルマスク等)を贈呈し、周辺住民 の皆様に役立てて頂きました。



商工会議所からの表彰状



感染防止対策グッズ贈呈の様子

6. おわりに

当社は地域住民を含む多様なステークホルダーから信頼される存在となるため、コミュニケーションや適切な情報開示を推進し、企業価値の向上と持続可能な社会の実現を目指します。

今後も医薬品製造のプロフェッショナル として、高品質の医薬品を安定供給すること で、世界の人々の健康に貢献して参ります。







美祢工場の環境保全活動について

宇部マテリアルズ株式会社 美祢工場 環境安全室

1. 美袮工場概要

当社は宇部興産グループの一員として、 山口県宇部市に本社を置く無機素材メーカ 一です。当工場のある美祢市で豊富に産出 される鉱物資源である石灰石を原料に生石 灰・消石灰などのカルシア関連製品を製造 し、その生石灰を利用し海水を原料にマグ ネシウムを取り出しマグネシア関連製品を 連携して製造する国内唯一の会社です。基 盤事業であるカルシア・マグネシアの製品 は、鉄鋼・窯業・製紙・化学業界をはじめ 十木建築・農業や環境分野など幅広い業界 で使用されています。またカルシア・マグ ネシアを原料として当社独自の技術(高純 度、超微粒子等)で生み出したファイン製 品は、電子材料や光学ガラス・樹脂フィラ 一材などに使用され最先端技術を支えてい ます。さらにヘルスケア商品部では化粧品・ 歯磨き粉などの生活関連製品を取り扱い、 顧客に密着した分野へも進出しています。



ベッケンバッハ炉

美祢工場は、美祢市南部に立地し1941年 設立。良質な石灰石を原料に、生石灰・消 石灰などを製造しています。ベッケンバッハ 式竪型焼成炉(高さ48m)を8基所有し、本年度は主製品の生石灰を焼成炉6基で1日2,200トンを生産しています。操業は365日24時間で、常に安全と環境に配慮し高品質の製品を安定供給することを使命としています。

2. 環境管理

【基本理念】

当社では「省エネルギー、省資源、リサイクルを積極的に推進し、持続可能な社会の発展に貢献する。」を基本理念に掲げ、当工場では IS014001 の認証を 2004 年 3 月に取得しており、以下の環境方針を策定して様々な環境保全活動に取り組んでいます。

【環境方針】

我々は、環境への取組みが経営の最重要課題の一つであると位置づけ、当社環境安全基本理念の下、次の活動を通じて環境と共生した持続可能な企業の発展に努めます。

- ① 全事業所にて環境目標を設定し環境パフォーマンスを向上させるため、環境マネジメントシステムの継続的改善を図ります。
- ② 環境関連の法律・条令及び地域・団体との協定等を遵守します。
- ③ 省エネルギーや廃棄物削減に取り組み、循環型社会の形成に貢献します。
- ④ 環境貢献型製品の開発・販売、並びに事業 活動による汚染の予防に努め環境への貢献 を図ります。
- ⑤ 従業員への教育と啓蒙を実施し、環境意識の向上を図ります。
- ⑥ 美祢地区は、近隣を住宅に囲まれ敷地内を 伊佐川が流れており、水環境はもちろんの

こと、騒音や大気環境にも十分配慮して地域社会とコミュニケーションを図り環境保全を実施します。

3. 環境保全への取組み

(1)排ガス処理

ベッケンバッハ炉の排ガスは、4100 m³/h と 4200 m³/hが各1基、1200 m³/hが2基のバグフィルター(集塵装置)で煤塵を捕集して大気に放出しており、美祢市との協定値以下を保っております。

(2)排水処理

工場内の排水は、基本的には系外に排水しない仕組みとなっておりますが、豪雨等の想定を超えた場合は中和設備を備えており、塩酸で中和させpH 調整後に河川へ放流しております。また油等の漏洩に備えて主要水路に油漏洩センサーを設置し、油漏洩対応訓練やオイルフェンス展張訓練・ウォーターゲート展張訓練も定期的に実施しております。構内を流れる伊佐川をいつまでもホタルが舞うきれいな川に保てるように日々活動を行っています。

(3) 産業廃棄物管理

構内には廃掃法に準拠した廃棄物置場でこれまでも法令を順守した分別管理を行ってきていますが、今年度はおよそ120 m²の屋根付き産業廃棄物置場を増設し更なる適正な管理を図っています。







新設した廃棄物置場

(4) 異常時の対応

毎年定期的に防災訓練を行っております。 今年度は9月に自衛消防隊と美祢市公営消防 署との合同火災訓練、10月に地震想定訓練を 実施し、協力会社を含む従業員の安否確認や 設備の状況把握等について工場全体で連携を 確認しました。今後も更なる保安管理の強化 を図りながら、近隣住民の皆様が安心できる 安全な工場を目指して一丸となって努めてま いります。



美祢市消防署との合同訓練

(5)環境負荷を低減させる製品の紹介

当社には環境負荷を低減させる製品が数多 くあります。ゴミ焼却場の排ガスに含まれる HC1 (塩化水素ガス)、SOx (硫黄酸化物) ガス、 ダイオキシン類などの有害ガスの処理剤「カ ルブリード」や水酸化マグネシウムをベース にした海底・湖底の水質改善剤「クリアウォ ーター」・「カルサンマリン」。 高含水比土を 瞬時に改質することのできる生石灰をはじめ、 火山灰質粘性土・有機質土に対応可能な石灰 系固化材「グリーンライム LS」や粉塵対策が 必要な市街地や農地周辺には「スーパーグリ ーンライム」を使用することで、周辺環境へ の配慮を行うことができます。さらに環境対 策として推進しているのが、中性固化材「グ リーンライムNP」と重金属不溶化材・吸着材 「グリーンライムM」です。

「グリーンライム NP」は固化性能に加えて

植生試験・魚毒性試験においても安全性が確認されています。「グリーンライムM」は土中の重金属を不溶化し、地下水への影響を防ぐことが可能です。近年ではこれらの土壌汚染対策法に対応した環境対策製品が農地・水域周辺の高速道路や、都市部のシールド工事等で使用されており、今後も大きな需要が見込まれています。

(6) 地域貢献・地域との交流

◆事業所周辺の清掃活動

当工場では地域貢献の取組みとして、年2 回の清掃活動を実施しております。2021年度 も5月に新入社員との合同で、10月に自主参 加による地域清掃を実施しました。



新入社員との近隣清掃

◆消火競技大会

毎年10月に開催される美祢市消火競技大会に出場しております。年々レベルが上がり近年は入賞から遠ざかっていますが、事前練習・大会当日・打ち上げの場が貴重なコミュニケーションの機会となっています。



消火競技大会

(7)法令順守

当社では、環境マネジメントシステムの内部監査を活用した法令順守状況の確認、法令改正情報の配信、法令改正等に関する研修会を定期的に行い関係法令順守に努めています。

特に廃棄物処理法については年々規制が強化されており、これを順守徹底するため廃棄物処理に関する手順書等を整備し、手順書に従い廃棄物の適正処理を行っています。また排出責任を果たすため、処理を委託している産業廃棄物処理業者(収集運搬業者、処分業者)についての現地調査を年1回実施しています。現地での処理状況確認はもちろんのこと、2次マニフェストの交付状況や各種処理施設の維持管理記録の確認等、法令に従い適正に処理されていることを確認しています。

4. おわりに

当社では、創意と個性を活かして企業力を 高め、顧客と社会の信頼に応え、企業の使命 を全うするため、

Creation【創造】

Cooperation 【共生】

Challenge【挑戦】

の「3C」を行動指針とし、「環境」「安全」 「品質」を3つの柱として

Toward the Future 【未来への可能性】を信じて、今後も企業の 社会的責任を果たしてまいります。



いいシゴトを生むための 風涌しのいい職場風土を目指しています

岩国市の水環境

岩国市環境部環境保全課

1. 岩国市の概要

現在の岩国市は、平成18年3月20日に旧岩国市、玖珂郡錦町、美川町、美和町、本郷村、 周東町、玖珂町、由宇町の8市町村の合併によって誕生しました。

本市は山口県の東部端に位置しており、東は瀬戸内海安芸灘に臨み、西部は周南市、北西部は島根県、東部は広島県、和木町、南部は柳井市、田布施町、光市と接するとともに、大畠瀬戸を挟んで周防大島町に隣接しています。

市の北部は寂地山や羅漢山などを有する山 岳地帯となっており、中部には玖珂盆地を中 心とした広大な田園風景を有し、南東部は温 暖な気候の瀬戸内海に面しています。

沿岸部には製造業の工場を中心とした工業 地域があり、瀬戸内海臨海工業地帯の一翼を 担っています。一方で瀬戸内海国立公園や市 北西部の西中国山地国定公園など自然豊かな 地域、世界遺産登録を目指している錦帯橋な どに象徴される歴史と観光の地域、米海兵隊 岩国航空基地のある地域など多面的な顔を持 っています。



春の錦帯橋と錦川

2号線・188号線をはじめ7本の国道、中国・ 山陽自動車道、山陽新幹線と山陽本線・岩徳線 が市域を貫き、岩国港は重要港湾に指定され ているほか、米海兵隊岩国航空基地の滑走路 を共有する岩国錦帯橋空港を擁しており、山 口県の東の玄関口となっています。

市域面積は 873.72km² で県内では山口市に 次ぐ広さとなっています。令和3年4月1日 時点での人口は 131,081 人で前年と比べて 1,504人の減少、世帯数は65,466 世帯で28世 帯の増加となっています。

2. 水とのかかわり

錦川の上流部には「日本の滝百選」に選定された「寂地峡五龍の滝」などの渓流美が広がり、 天然記念物に指定されたカジカガエルの生息地、世界遺産登録を目指す錦帯橋など、豊かな水環境を持っています。



寂地峡五龍の滝の一つ 龍尾の滝

市内では2箇所(寂地川・桜井戸)が「名水 百選」に選定され、地域の方々によって積極的 な保全活動が進められています。また、平成23 年の山口国体でカヌー競技が行われた中山湖 や、キャンプ場などのある弥栄湖、さらには海 浜部の「潮風公園みなとオアシスゆう」など、 市民の水への親しみ・かかわりは深いものが あります。

3. 水環境の保全対策

岩国市の沿岸部には瀬戸内海臨海工業地帯の一翼を担う工業地域が、内陸部には周東テクノポートや瀬田工業団地をはじめとした工業団地が整備されています。市では、市民の健康の保護と生活環境の保全のため、環境悪化を防止する予防的見地に立って、公害関係法令を補完するものとして、26 事業所と環境保全協定を、19 事業所と覚書を締結するとともに、排水等の立ち入り検査を実施し、環境保全に努めています。

また、住民への水環境保全意識の啓発事業として、種々の取り組み等を行っています。

【水辺の教室】

河川や海等の身近な水環境に親しみなが ら、そこに生息する水生生物等の観察をする ことで、自然をいたわる優しい心の醸成を図 るため、水辺の教室を開催しています。



水辺の教室の様子

令和3年度は感染症対策を講じながら計 6回の教室を開催し、児童・生徒など116名 の参加がありました。

【岩国市ミクロ生物館】

岩国市由宇町の「潮風公園みなとオアシスゆう」の中に、目に見えないほど小さな世界の生き物であるミクロ生物を紹介する世界初の博物館があります。

食物連鎖の底辺で多くの生命を支えているミクロ生物がいなければ、豊かな自然環境 も私たちの生活も成り立ちません。

ミクロ生物館では、そんなミクロ生物たち の知られざる生態と役割を紹介しています。



ミクロ生物館の展示スペース

4. 公共用水域の水質状況

公共用水域の環境基準適合状況については、山口県及び中国地方整備局により継続的に実施されています。令和2年度の状況は以下の通りです。

① 海域

CODについては、岩国港のB類型、C 類型の水域で、窒素・りんについてはすべ ての水域で基準を達成しています。

② 河川

BODについて、すべての河川・地点で 環境基準を達成しています。(窒素・リン は基準設定なし)

③ 湖沼

CODは菅野湖・弥栄湖で基準を達成し 基準が設定されています。りんについては山代湖と弥栄湖 していません。

で基準を達成しています。なお、弥栄湖で 基準が設定されている窒素は基準を達成 していません。

環境基準達成状況経年変化

· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·														
BOD, COD								窒	素、り	ん				
環境基準類型		地		達成	犬況(年度)			地		達成	状況(年度)	
環境 産 単 類 空 あてはめ水域名	類	点	平			令		類	点	平			令	
めてはめ小城石	型	数	成			和		型	数	成			和	
			28	29	30	元	2			28	29	30	元	2
大竹•岩国地先海域	А	4	×	×	×	×	X	П	2	\circ	0	0	0	0
岩 国 港 (2)	В	3	0	×	×	0	0							
岩 国 港 (1)	С	2	0	0	0	0	0							
広島湾西部	А	3	×	×	×	0	×	П	4	0	0	0	0	0
	AA	1	×	×	0	0	0							
小 瀬 川	А	1	0	0	0	0	0	-	_	-	_	_	-	-
	В	1	0	0	0	0	0							
	AA	2	0	0	0	0	0							
錦川	А	4	0	0	0	0	0	-	_	_	_	_	-	-
	В	2	0	0	0	0	0							
由 宇 川	А	2	0	0	0	0	0	_	_	_	_	-	_	_
島田川	А	3	0	0	0	0	0	-	_	_	_	_	_	_
弥 栄 湖	А	1	0	0	0	0	0	П	1	0	×	0	0	0
曹 野 湖	А	1	0	0	0	0	0	П	1	×	×	0	×	X
山 代 湖	А	1	0	0	0	×	×	Π	1	×	×	×	×	0

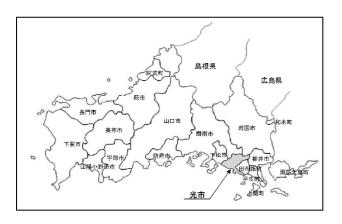
光市の水環境

光市環境部環境政策課

1. 光市の概要

本市は、平成16年10月4日に旧光市と 旧大和町が合併し、新しい「光市」として誕 生しました。

山口県の東南部、周南工業地帯の東部に位置し、市の東側に柳井市、田布施町、北側に 周南市、岩国市、西側では下松市に隣接しています。



東西方向は約16km、南北方向は約15km、総面積は約92km²のコンパクトサイズなまちで、瀬戸内海国立公園の一角を成す白砂青松の室積・虹ケ浜海岸をはじめ、県立自然公園にも指定される幽玄な石城山、多様な生き物の命を育む母なる島田川など、美しく豊かな自然は、本市のかけがえのない財産です。

また、瀬戸内特有の温暖で穏やかな気候は、本市の大きな特徴であり、年間の日照時間は全国市の平均1,862時間を上回る2,150時間(気象庁「メッシュ平年値2010」に基づく民間の分析による)と全国でもトップクラスの日照時間を誇るなど、ひかりが燦々と降り注ぐまちでもあります。

一方、人々の生活の中心地となる市街地は、

市域の中央部を貫流して周防灘に注ぐ島田川の河口を中心に形成されるとともに、岩田駅 周辺地区の都市づくりを進めています。



2. 河川・海域の状況

本市の主な河川としては、北西部において 豊富な水量を有する島田川、市のほぼ中央を 流れる光井川、北東部を流れる田布施川があ り、豊かな水資源による恩恵を大いに享受し ています。

市域の東西に有する室積海岸と虹ケ浜海岸 は総延長8kmにもおよび、「日本の渚・百 選」や「快水浴場百選」などに選ばれている 美しい海岸です。

これら素晴らしい自然環境や観光資源を保全するため、本市では公共用水域の監視を行っています。

(1) 河川の水質状況

令和2年度は、県による主要河川の環境基準点での調査を、島田川水系の本流2地点、 光井川水系の本流2地点で行っています。

また、島田川水系の支流では13地点、光井川水系の支流では1地点、田布施川水系の 本流1地点で市による汚濁状況の調査を行っ

ています。

※島田川:二級河川(全てA類型)

※光井川:二級河川(光井橋上流約100m

の堰より上流がA類型、下流がB類型)

※田布施川:二級河川(全てA類型)

調査結果は、各河川とも水質汚濁の指標となるBOD(生物化学的酸素要求量)、SS(浮遊物質量)及びDO(溶存酸素量)については環境基準を達成しています。

島田川水系におけるBODの環境基準達成状況

調査地点	類型	H28	H29	Н30	R1	R2
東荷川合流点下 100m(県)	A	0	0	0	0	0
千歳小橋(県)	A	0	0	0	0	0
支流(市)	A	0	0	0	0	0

光井川水系におけるBODの環境基準達成状況

調査地点	類型	H28	H29	H30	R1	R2
宮田橋上流 300m(県)	A	0	0	0	0	0
鮎帰橋下流 30m(県)	В	0	0	0	0	0
支流(市)	A	0	0	0	0	0

田布施川水系におけるBODの環境基準達成状況

調査地点	類型	H28	H29	H30	R1	R2
本流(市)	A	0	0	0	0	0

(2)海域の水質状況

海域に直接流れ込む河川における沿岸部の 影響を調査するため、令和2年度はA類型指 定海域で、県が環境基準点の2地点、市が3 地点、B類型指定海域では県が環境基準点の 1地点で、調査を行っています。

調査結果は、各海域ともDO(溶存酸素量)、 大腸菌群数、nーヘキサン抽出物質、全窒素、 全燐について環境基準を達成しています。

A類型指定海域におけるCODの環境基準達成状況

調査地点	H28	H29	H30	R1	R2
西河原川沖(県)	0	0	0	0	0
岩屋沖(県)	0	0	0	0	0
懸山沖(市)	0	×	×	0	×
海浜荘沖(市)	×	0	×	0	0
室積港沖(市)	×	0	×	0	0

B類型指定海域におけるCODの環境基準達成状況

調査地点	H28	H29	H30	R1	R2
製鐵・武田沖(県)	0	0	0	0	0

3. 水環境の保全に向けた取り組み

(1) 公害防止協定に基づく環境調査

本市は、昭和39年に周南地区工業整備特別地域に指定された周南地域の東部に位置しており、戦後に旧海軍工廠跡地において操業を開始した2大企業を中心に発展してきました。

昭和47年より、これらの市内主要工場及 び進出工場と公害防止協定を締結し、公害の 未然防止に努めています。

公害防止協定に基づく環境調査として定期 的に工場排水の調査を行っており、令和2年 度は7社の工場からの排水を調査し、環境基 準の遵守状況を確認しました。

(2) 流域下水道等の整備

公害防止計画及び光市総合計画に基づき、 島田川流域の水質保全と生活環境の改善を図 るため、昭和52年度から山口県を事業主体 として1市4町(当時)を処理区域とした 「周南流域関連公共下水道事業」に着手しま した。

昭和61年10月に浅江地区において初めて供用を開始し、令和元年度末時点で、本市計画区域面積に対して、整備率74.1%、普及率81.1%となっています。

現在においても、本市東部の室積地区を中心に整備促進を図っています。

(3) 浄化槽設置整備補助事業

浄化槽は、下水道と同等の機能を有し、家庭からの生活排水やし尿を処理する設備であり、トイレの水洗化による生活環境の向上に加え、河川や水路など自然環境の保全にも大きく寄与しています。

平成24年度からは、従来の公共下水道事業計画の認可区域外に加え、認可区域内でも居住を目的とした住宅に浄化槽を設置する市民に対し、設置費用の一部の補助を行っています。

(4) クリーン光大作戦

白砂青松、風光明媚な海岸は、多くの人々が集う一方、海岸に漂着するごみの問題を抱えています。このため、昭和48年から有志の手によって室積・虹ケ浜海岸や島田川周辺などの水辺を中心に、市内一斉の清掃活動を行う『クリーン光大作戦』が始まりました。

近年では、次世代を担う中学生が積極的に参加し、清掃活動を通じて自然と接し、自然の素晴らしさを体感するとともに、漂着ごみの現状を知るなど、自然保護の意識が醸成されています。



(5) ひかりエコくらぶ

本市の豊かな自然を活用し、「遊び」を主眼とした自然体験会を通して、五感を使って自然を感じ、その恵みに感謝し、継承していくことの大切さを学びながら、環境保全意識の醸成を図るため、次代を担う子どもたち(小学校1~3年生の児童)を対象とした、『ひかりエコくらぶ』を開催しています。



4. 最後に

本市は、「自然敬愛都市宣言」のまちとして、自然を愛し、自然の摂理にかなった快適で潤いとやすらぎのあるまちづくりを進めています。

今後とも、豊かな自然に感謝し、美しいふるさとを美しいまま未来に伝えていくとともに、人にも自然にもやさしさに満ちあふれた環境都市を目指していきます。

1. 平生町の概要

本町は、山口県の東南部、室津半島の西に位 置し、標高438mの大星山(おおぼしやま)、 標高400mの箕山(みやま)を中心とした丘 陵地帯と、平生平野を中心とした平野部から 成っています。西に田布施川を挟んで田布施 町、北と東は田布路木、室津半島の稜線伝いに 柳井市と接し、南は半島なかばで上関町と境 を分けています。



「上空から見た平生町」

室津半島の西に位置する熊毛群島のうち、佐 合島(さごうじま)が本町に属し、また18. 2 k mに及ぶ海岸線は波静かで陽光に恵まれ ており、瀬戸内海国立公園の一端を形成、豊か な自然環境を有しています。

気候は年間を通じて雨の少ない、いわゆる瀬 戸内海式気候に属しています。



「佐賀漁港」

本町の人口は、令和2年(2020年)度の 国勢調査によると、11,914人となってお り、昭和60年の国勢調査人口15,030人 から減少傾向が続いています。

年齢区分別人口割合で見ると、65歳以上 の老年人口が43.2%、15歳未満の年少人 口が9.1%となっており、全国に比べて少子 高齢化が進んでいます。

現在本町では、町の位置する室津半島の地形 がイタリア半島に似ていることから、平成30 年に「イタリアーノひらお宣言」を行い、イタ リアをテーマとしたまちづくりを進めていま す。「なんだか楽しそう」と誰もが訪れたくな る・住みたくなるまちを目指しています。







「イタリアーノひらお」

2. 平生町の水環境の状況

本町は今から約350年の昔、毛利藩の政策による大規模な開作によって町主心部が形成されています。堤防を築き、海水をせき止め、海面以下の140haにも及ぶ低い開作土地ができましたが、この開作の雨水排除の方法として、大内川、熊川、堀川を設け42の樋門をつくりました。熊川に当時最先端の技術で造られたのが土手町南蛮樋といわれるものです。この南蛮樋は、慶安4年(1652年)から万治元年(1658年)にかけて、大野毛利氏により行われた平生開作により造られたと推定されています。

また、大内川は、海水面との関係で開作の土地よりも高く作られたため、天井川になっており、台風などの場合は高潮や洪水の危険と不安に常にさらされてきましたが、昭和62年5月に大内川排水機場が竣工し、それまで住民の生活を守ってきた南蛮樋もその使命を終えました。

土手町南蛮樋は平成2年11月6日に山口県有形民俗文化財に指定されました。その後、熊川河川改修工事のために撤去されましたが、南蛮樋の文化財としての価値を保存するため、平成27年12月に移築復元されました。



「移築復元された土手町南蛮樋」

下水道事業は、住民の健康で快適な生活環境の確保や、海域・河川等公共用水域の水質の保全を図るための不可欠な事業です。

本町の公共下水道は、田布施川流域関連公共下水道事業として、平成2年度より隣接する田布施町と共に整備を開始し、平成8年度に本町中心部の一部で供用開始されました。令和2年度末現在の処理区域面積は、市街地を中心に約279ha、普及率は61.6%です。下水道普及率、水洗化率ともに徐々に上昇している状況ですが、近年は行政人口の減少に伴い、処理区域内人口及び水洗化人口は減少しています。

集落排水施設事業は、佐賀地区漁業集落環境整備事業として、平成9年度より事業をスタートし、平成16年度に一部供用開始、平成19年度で整備事業を完了しています。令和2年度末現在の処理区域内人口は、1,054人で処理区域内の水洗化率は約76.6%です。佐賀地区は、人口減少が著しく、水洗化人口も減少しています。

公共下水道の認可区域外及び、佐賀地区漁業 集落整備事業の整備区域外の住民が浄化槽を 設置する場合は、費用の一部を補助しています。 これらにより、今後も水洗化率の向上に努め ていきます。

また、毎年、町内の主要河川、海岸2箇所の 水質検査を行っていますが、下水道等の普及に より、水質は改善されています。

3. 海辺の観光情報

丸山海浜パークは、佐賀地区にある本町で唯一の海辺の公園であり、平成元年5月にオープンしました。本町の西側は瀬戸内海の周防灘に面し、約18kmにおよぶ海岸がありますが、なかでもここは海水の美しさに優れた海岸のひとつです。特に、夏になると海水浴やバーベキューなど、海のレジャーを楽しむ家族連れなどでたいへん賑わっています。



「丸山海浜パーク」

本町唯一の離島である佐合島は佐賀漁港から定期船で約8分のところにある小島です。

島の緑と白い砂浜、美しい海岸線が続き、夏 は海水浴客で賑わいます。

佐合島は、久保白船(1884~1941年 俳人・水彩画家)の生まれた地です。家業の醤油醸造業の傍らこの島で句作に励み、中学校以来の友人である種田山頭火や田布施町の俳人江良碧松とともに活躍しました。



「佐合島」

きらら浜自然観察公園の新たな取組について

山口県環境生活部自然保護課

1. はじめに

平成13年4月、山口県立きらら浜自然観察公園(以下「公園」という。)は、「野鳥その他の野生動植物に親しむことを通じて、自然保護についての県民の理解を深めること」を目的として、山口市阿知須に開園しました。(図1)

公園のビジターセンターでは、野鳥の観察や、きらら浜周辺の動植物について学ぶことができるほか、様々な自然環境(干潟、汽水池、淡水池、ヨシ原)が保全されていて、四季を通じて様々な野鳥が飛来する施設でもあります。

令和元年度から令和3年度にかけて、指定管理者であるNPO法人野鳥やまぐち(以下「指定管理者」という。)が、公園の特色の1つである干潟や水生生物等を生かした新たな取組を開始したところ、公園のビジターセンター入館者数及び公園利用者数(以下「公園利用者数等」という。)が増加し、利用者から好意的な意見も寄せらせていますので、その取組を紹介します。(図2)



図1:公園位置図



図2:公園施設の配置図と新たな取組

2. 公園利用者数等の推移

公園利用者数等の推移は、図3のとおりであり、近年、ビジターセンター入館者数は、開園当初の約22,000人と比較して、徐々に減少し、近年は横ばいとなっていました。

課題として、公園利用者数等増加に向けた新たな取組の実施や、野鳥関係以外の自然環境学習プログラムの充実、地元企業や地域との協調した取組の実施、などが挙げられていました。

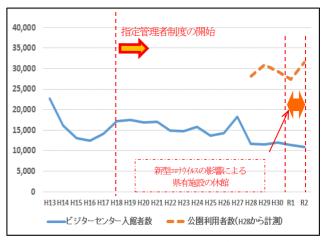


図3:公園利用者数等の推移

3. 指定管理者による新たな取組

(1) 干潟ふれあいゾーン・親水広場の整備

公園の特色の1つである干潟を直接体験してもらうため、令和元年度及び令和2年度に、山口湾のあさりの供給場所としての機能を兼ねた親水広場を設置し、令和3年度はビジターセンター横に干潟ふれあいゾーンを整備しました。(図4)

干潟ふれあいゾーンでは、トビハゼの他に、多くのカニ類やテッポウエビなどが生息しており、季節に応じて多くの種類を観察することができます。(図5)



図4:干潟ふれあい広場



図5:干潟ふれあい広場で観察できるトビハゼ

(2)企業と連携したミニ水族館の設置

電力会社の社会貢献活動と連携し、共同 事業で自然観察会を開催し、観察会で使用 した水槽や生物を活用して、ビジターセン ター内にミニ水族館(図6、図7)を設置しました。



図6:ミニ水族館



図7:ミニ水族館での展示例

(3) 新たな自然環境学習プログラム等の実施

指定管理者の創意工夫により、様々な新 規プログラムが追加されています。特に、 毎週土曜日に、入館者が事前申込なしでも 参加可能な「こどもあそびのひろば」が人 気となっており、週替わりに様々な分野 (水生生物では、特に上記(1)及び(2) を活用)を取り入れたプログラムを開催し ています。

その他、胴長を着用したプログラムも実施しています。

<水生生物のプログラム例>

- ・園内の水生生物の罠の引き上げ(図8)
- ・胴長を着用した干潟体験(図9) …等



図8:こどもあそびのひろば ~水生生物の罠の引き上げ、観察~



図9:胴長を着用した干潟体験

4. 取組結果

令和元年度と令和3年度における、公園 利用者数等を比較すると、図10のとおり大幅に増加する見込みです。

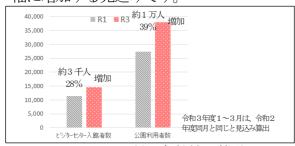


図10:公園利用者数等の推移

また、公園で実施している自然環境学習 プログラムの参加者数の比較は、図 11 のと おりです。これまでは、野鳥や工作教室が 主体のプログラムでしたが、公園の特色の 1つである干潟や水生生物等を活用するこ とにより、幅広いテーマ(野鳥、水生生物、 昆虫、植物、複合テーマ等)を学ぶことが できる公園になっています。

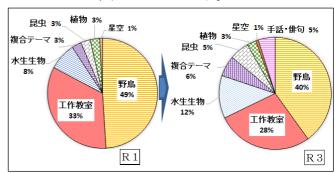


図11: テーマ別参加者数の比率(4~12月) また、新たな取組の参加者にアンケートしたところ、図12のとおり、特に干潟で直接体験できることについて、好意的な意見が寄せられました。

- ・子供が夢中で2時間位カニを探していて、 まだまだ探したいと言っていた。
- ・子供を連れてこんなに遊べるところとは知らなかった。また来たい。
- ・胴長を着て干潟やビオトープに入るなど 他ではできない体験ができた。 …等

図12:新たな取組への参加者アンケート

5. おわりに

公園では、環境を生かした自然に触れ、 指定管理者が工夫を凝らした様々なプログ ラム(野鳥、水生生物、昆虫、植物、複合 テーマ等)で楽しく学ぶことができます。

また、ホームページなどでも公園の情報 を発信しており、様々な野鳥や、昆虫、水 生生物等を見ることができ、四季の変化を 感じることもできます。

ぜひ、きらら浜自然観察公園にお越しく ださい。 **ロユய**

> きらら浜自然観察公園の ホームページ

第4次「山口県環境基本計画」の策定について

山口県環境生活部環境政策課

本県は、多彩で豊かな自然に恵まれており、 本県の産業、生活、歴史・文化は、この豊か な環境から多くの恵みを受けながら育まれて きました。

この豊かな環境を健全なかたちで守り、次世代に引き継いでいくことは、今を生きる私たちに課せられた重要な責務であり、私たち一人ひとりが環境に配慮したライフスタイルを実践するとともに、地域社会を構成するすべての主体が良好なパートナーシップを築き、環境への負荷の少ない持続可能な社会を構築していく必要があります。

このため、本県では、1995 (平成7)年12月に「山口県環境基本条例」を制定するとともに、1998 (平成10)年3月に「山口県環境基本計画」を策定し、環境を取り巻く社会情勢の変化等を踏まえ、見直しを行いながら、環境に関する様々な施策を総合的・計画的に推進してきました。

こうした中、近年、地球温暖化を要因とする気候変動や生態系への影響、また、マイクロプラスチック等による海洋ごみ問題など、地球規模での新たな課題が顕在化しています。

このような課題を背景として、「持続可能な開発目標(SDGs)」を掲げる「持続可能な開発のための2030 アジェンダ」や地球温暖化対策の新たな枠組みであるパリ協定が採択されるなど、国内はもとより、国際的にも持続可能な社会の構築に向けた機運が高まっています。

こうした環境を巡る情勢の変化に的確に対応し、本県の地域特性や産業特性を活かした独自の取組を一層推進していくため、県では、

令和3年3月に、環境基本計画の内容を見直 し、第4次の「山口県環境基本計画」を策定 しました。

この計画に基づき、本県の健全で恵み豊かな環境を維持しつつ、環境への負荷の少ない持続的発展が可能な社会の構築に向けた県づくりをより一層進めていくこととしています。

計画の推進に当たっては、県民活動の推進 母体である「環境やまぐち推進会議」を中心 に、県民、NPO等民間団体、事業者、大学・ 研究機関、行政が連携して実践的な活動を進 めます。

また、県庁においては、庁内各部局で構成する「山口県環境政策推進会議」において、環境関連事業の連携や進行管理等を行っていくこととしており、施策・事業の総合的な推進に努めます。

計画の進行状況については、山口県環境白 書や県のホームページを通じて公表し、県民 への周知を図ります。

なお、環境を巡る社会情勢の変化や関係法令の改正、関係計画の改定等に応じて、5年を目途に見直しを検討します。また、法改正等により、記載内容を見直す必要が生じた場合には、「山口県環境審議会」等の意見を踏まえ、適切に対応します。

※ 第4次「山口県環境基本計画」の概要は 次のとおりです。なお、本計画の全文は、 当課のホームページを御参照ください。

<URL> https://www.pref.yamaguchi.

lg.jp/cms/a15500/index/

基本目標

計画の基本目標は、「山口県環境基本条例」の基本理念を踏まえ、第1次計画から掲げている「健全で恵み豊かな環境の保全と創造」を継承します。

健全で恵み豊かな環境の保全と創造

~ みんなでつくる環境・経済・社会が調和する持続可能なやまぐち ~

@ULDIE

基本方針

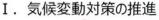
基本目標の実現に向けて、これまでの計画における考え方を継承しながら、次の3つの基本方針を設定し、各種施策を展開します。

なお、各種施策は、複数の課題を同時に解決するとともに、多面的な効果が発揮できるよう推進します。

- ①健全で恵み豊かな環境を次世代に引き継ぐための低炭素・循環型・自然共生社会の構築
- ②県民が安心して暮らせる安全で快適な生活環境の確保
- ③「持続可能なやまぐち」を実現する人づくり・地域づくり

施策の展開

3つの基本方針のもと、以下の6つの重点施策及び「共通的・基盤的施策の推進」を掲げ、各種施策・ 事業を、総合的・計画的に推進することで、「健全で恵み豊かな環境の保全と創造~みんなでつくる環境・ 経済・社会が調和する持続可能なやまぐち~」の実現を図ります。





Ⅱ. 循環型社会の形成



Ⅲ. いのちと暮らしを支える生物多様性の保全



IV. 生活環境の保全



V. 環境に配慮し、行動できる 人づくりの推進



VI. やまぐちの特性を活かした 持続可能な地域づくりの推進



VII. 共通的·基盤的施策の推進

第1節 気候変動対策の推進

1 温室効果ガス排出削減の取組

総合的な取組の推進、CO2削減県民運動の推進、省・創・蓄エネの導入促進、移動・物流の低炭素化の促進、プロン類の排出抑制の推進、県自らの省エネ・節電の推進

2 森林などによる二酸化炭素吸収の確保

健全な森林の整備と木材利用の促進

3 再生可能エネルギーなどの地域資源の活用

再生可能エネルギーの導入促進, 地域資源を活用した持続可能な地域づくりの推進, 水素エネルギーの研究、利活用の促進, 工場におけるスマートファクトリー構築などの促進, 地産・ 地消の推進, 森林バイオマスの活用の推進

4 気候変動への適応

第2節 循環型社会の形成

1 3 Rの推進

プラスチックごみ削減の推進,食品ロス削減の推進,リユースの推進,資源循環型産業の育成支援

2 適正処理の推進

排出事業者責任の徹底,PCB廃棄物処理の推進,処理施設等に対する監視指導の強化,ダイオキシン類対策の推進,災害廃棄物処理対策の推進

3 適正処理体制の確保

不法投棄等の不適正処理防止体制の確保,海洋ごみの適正処理体制の確保,優良産廃処理業者の育成支援,公共関与による広域処理体制の推進,処理施設設置に係る事 前協議の推進

4 循環型社会を担う人づくり・地域づくり

環境学習・環境教育の推進、普及啓発及び情報発信

第3節 いのちと暮らしを支える生物多様性の保全

1 豊かな生物多様性の保全と再生に向けた取組の推進

優れた自然環境の保全,希少野生動植物の保護,野生鳥獣の保護・管理,外来種対策の推進,豊かな森林づくりの推進,里山・里海の保全・再生,身近な緑の保全・創出,水質(清流)の保全,森・里・川・海を育む流域づくりの推進,天然記念物の保護・管理,気候変動対策の推進

2 生物多様性に配慮した社会経済活動の推進

循環型農業の推進等, 開発事業等における配慮

3 行動できる人材の養成と多様な主体の取組の促進

普及啓発と多様な主体の取組の促進,自然と人とのふれあいの確保,地域固有の自然資源を保全しながら活用する持続可能な地域づくりの推進,生物多様性に関する環境学習・ 環境教育の推進

第4節 生活環境の保全

1 大気環境の保全、騒音・振動の防止

工場・事業場対策の推進,自動車排出ガス対策の推進,光化学オキシダント対策の推進,PM2.5対策の推進,アスペスト対策の推進,水銀対策の推進,悪臭防止対策の推進,工場・事業場の騒音・振動の防止,自動車騒音対策の推進,新幹線鉄道騒音・振動対策、航空機騒音対策の推進,近隣騒音等、その他の騒音・振動対策の推進

2 水環境の保全

生活排水対策の推進,工場・事業場対策の推進,河川・湖沼水質保全対策の推進,海域の保全対策の推進,瀬戸内海の環境保全の推進,地下水の汚染対策の推進,保水能力の向上,安心・安全な水道水の供給

3 土壌環境の保全

土壌汚染対策の推進,農用地の土壌汚染対策

4 化学物質等の適正管理の推進

化学物質等の適正な管理、農薬による危被害防止、ダイオキシン類対策

5 環境放射線対策の推進

第5節 環境に配慮し、行動できる人づくりの推進

1 環境学習・環境教育の基盤整備

総合的な取組の推進,持続可能な社会づくりの担い手を育む教育の推進,環境にやさしい消費行動の推進

2 幅広い場における環境学習の推進

幅広い地域・年齢層への学ぶ機会の提供、自然とのふれあいの場や機会の充実

3 学校における環境教育の推進

環境教育の基本的な考え方、学校教育における推進方策

第6節 やまぐちの特性を活かした持続可能な地域づくりの推進

1 多様な主体の参画・連携・協働による環境にやさしい地域づくり

地域の各主体による自主的取組の促進,各主体の連携・協働による取組(パートナーシップ)の推進,環境に配慮した産業の育成・事業化の促進

2 環境マネジメントの推進

3 やまぐちの良好な景観の保全と活用

景観の保全と創造、歴史的・文化的環境の保全・活用、都市と農山漁村との交流の拡大、里山、里海づくりの推進

令和3年度 山口県瀬戸内海環境保全協会会長表彰受賞者

名称	きゃじちかい 岐波自治会
団体の所在地	宇部市大字東岐波1450-2
代表者氏名	^{なかの みのる} 中野 実 (岐波自治会 会長)
主な功績	○岐波自治会の海岸堤防出入り口に、漂流物等回収用のコンテナを設置し、地域住民が自主的に、漂流物等の清掃にあたっている。コンテナに集められた漂流物は、分別を行い、毎月、荒ゴミの日に回収を行っている。
特 記 事 項 等 (表彰歴等)	特になし

令和3年度 山口県環境保全活動功労者等知事表彰受賞者

【環境保全活動功労者·団体】1名、1団体

氏名(住所·年齡)/団体名(住所)	主な功績
橋本 均 (光市・73歳)	地球温暖化防止活動推進員として家庭におけるストップ温暖化 診断の診断員を務め、県民に対して家庭での温暖化対策の普及 啓発や出前講座を実施し、地球温暖化防止の普及啓発に貢献。
あなたとNAGATOを結び隊 (長門市)	旧街道を掘り起こし、定期的にウォーキングイベントを開催し、森の中の旧街道を散策しながら、自然観察やごみ拾い、環境整備を行うなど、地域ぐるみの環境保全活動に取り組むとともに、地域振興にも貢献。

【リサイクル、省資源・省エネルギー運動推進優良団体】 1団体

団体名(住所)	主な功績
藤山18区自治会 (宇部市)	資源の有効利用に努め、再資源化物の集団回収を実施、自治会 を中心としたリサイクル運動の推進に貢献。

【地球温暖化対策優良事業所】3事業所

事業所名 (住所)	主な功績
化薬ヌーリオン(株)厚狭工場 (山陽小野田市)	重油を燃料とする廃棄物焼却炉を休止し、製品庫・貯蔵庫冷凍 機を省エネタイプに順次更新し、事業所のCO2排出量を削減。
関西触媒化学(株)山口工場 (田布施町)	環境省の「グリーンプラン・パートナーシップ事業」を活用し、 事業場内のすべての重油燃料ボイラーを LNG 燃料ボイラーに交 換したことで、CO2排出量の大幅な削減を達成。
山口日産自動車株式会社 (山口市)	山口大内店に日本で唯一となるEV充放電設備(リーフ to ホーム)、太陽光パネル、充電器付き蓄電池を備える独立したEV専用ショールームを設置し、EVを活用したライフスタイルを紹介する全国的にも先進的な取組を実施。

【環境学習功労者】2名

氏名(住所・年齢)	主な功績
講議 美葉子 (防府市・58歳)	環境アドバイザーとして、地域や学校で行われる環境学習講座 等に指導者として出向き、循環型社会の形成や地球温暖化対策 等、環境に関する様々な問題を解説する講演を実施。
たなか ときこ 田中 時子 (岩国市・65歳)	山口きらら博エコパートナーに従事した後、環境パートナーとして、地域や学校で行われる環境学習講座等に指導者として出向き、自然体験プログラムを通して環境保全の重要性を指導。

(各表彰区分で個人・団体別50音順に記載、年齢は11/12時点)

令和3年度「環境保全、リサイクル、省資源・省エネルギー」 絵画・ポスター入賞者一覧

【小学生の部】

学校名	学年	氏名	賞
宇部市立常盤小学校	第1学年	関七海	最優秀賞
宇部市立常盤小学校	第4学年	関業織	優秀賞
宇部市立藤山小学校	第1学年	國平 萌	佳作
防府市立華浦小学校	第3学年	^{すぎた} 杉田 くるみ	佳作
宇部市立常盤小学校	第6学年	原田 優羽	佳作

【中学生の部】

学校名	学年	氏名	賞
山口市立湯田中学校	第2学年	前田 陽菜子	最優秀賞
岩国市立灘中学校	第3学年	まつとみ りんか 松冨 稟佳	優秀賞
岩国市立岩国中学校	第1学年	がなら れいな 河村 怜奈	佳作
下松市立末武中学校	第3学年	中村 真央	佳作
岩国市立岩国中学校	第3学年	たかつか ひ な こ	佳作

令和3年度「環境保全、リサイクル、省資源・省エネルギー」絵画・ポスター入賞作品 (小学生の部)

【最優秀賞】



関 七海 さん (宇部市立常盤小学校第1学年)

【優秀賞】



関 茉織 さん (宇部市立常盤小学校第4学年)

【佳作】



杉田 くるみ さん (防府市立華浦小学校第3学年)

【佳作】



國平 萌 さん (宇部市立藤山小学校小学校第1学年)

【佳作】



原田 優羽 さん (宇部市立常盤小学校第6学年)

令和3年度「環境保全、リサイクル、省資源・省エネルギー」絵画・ポスター入賞作品 (中学生の部)

【最優秀賞】



前田 陽菜子 さん (山口市立湯田中学校第2学年)

【優秀賞】



松冨 稟佳 さん (岩国市立灘中学校第3学年)

【佳作】



中村 真央 さん (下松市立末武中学校第3学年)

【佳作】



河村 怜奈 さん (岩国市立岩国中学校第1学年)

【佳作】



高塚 日南子 さん (岩国市立岩国中学校第3学年)

令和3年度環境保全標語入選作品

【選者 全国SLAスーパーバイザー 長尾幸子】

(敬称略)

賞	作品	氏名	所属等
金	ごみ拾い 希望も集めてリサイクル 生まれ変わって 繋がり広がる	佐藤 美由紀	宇部興産機械㈱
銀	透き通る程のキミと海 この先も上を向いて歩けるように	大田 康平	東ソ一㈱南陽事業所
亚比	守りたい キラキラ輝くきれいな海と キラキラ輝く 子供の未来	青木 佳子	(株)東ソー分析センター
	皆で協力 地球の熱を 下げなくちゃ	池田 宜将	日本製紙㈱岩国工場
銅	瀬戸内の 海の色は心の鏡 みんなで守ろう澄んだ海	兼重 直樹	東洋鋼鈑㈱下松事業所
	気負いせず 楽しみながらエコライフ 継続してこそ環境保全	小野 綾子	鋼鈑工業(株)
	泣くのは地球ではなくあなたです	福岡 翔斗	日本製紙㈱研究開発本部 化成品研究所
	コロナ禍で どこへも行けないもどかしさ 癒してくれる 瀬戸の風景	久恒 勇一	旭化成建材(株)岩国工場
	ごみの分別 手間はあっても 無駄じゃない	荒川 麟	三井化学産資㈱
	瀬戸内海の美しい未来を創造し 環境美化で心も綺麗にブラッシュアップ! みんなではじめる「瀬戸内改革!」	藤井 哲磨	ENEOS㈱麻里布製油所
佳作	そのゴミは 土にも 海にも 帰りません	米正 裕	日本製鉄㈱九州製鉄所 大分地区光鋼管部
	リサイクル 一人の力が 大きな財産	永田 啓一郎	日本製鉄㈱九州製鉄所 大分地区光鋼管部
	コロナ禍の 心を癒す 瀬戸の青	呉橋 和生	日鉄ステンレス㈱製造本部 山口製造所光エリア
	気遣い一つで守れる自然 小さなことから第一歩	木村 洋道	日鉄ステンレス㈱製造本部 山口製造所光エリア
	守りたい きれいな海や澄んだ川 一人の意識が周りを変える	中本 博志	日鉄ステンレス㈱製造本部 山口製造所光エリア
	持ち帰る ゴミと思い出 瀬戸内海	吉原 努	日鉄ステンレス㈱製造本部 山口製造所光エリア

賞	作品	氏名	所属等
	ポイ捨ては 心と誇りを捨てること 未来へつなぐエコ意識	東 洋一郎	中電環境テクノス㈱柳井事業所
	見ないふり、知らないふりが黄信号、 ゴミ拾いから始まる環境保全	安西 晋	㈱日立製作所笠戸事業所
	ポイ捨てで 誇りも一緒に捨てますか? 守ろうプライド、青い海	大山 拓馬	㈱日立製作所笠戸事業所
	里山の竹林整備し燃料へ 環境効果は 倍をます(バイオマス)	石川 政利	㈱トクヤマ徳山製造所
	エコの炎をトーチでつないで 広げよう リサイクル五輪	重永 義徳	(株)トクヤマ徳山製造所
	瀬戸内の キラリと光るその海は 一人ひとりの心掛け	佐伯 航太	(株)トクヤマ徳山製造所
	小さな一歩で輝く未来 みんなで築く豊かな瀬戸内海	石田 英之	日本ゼオン㈱徳山工場
	きれいな海見て きゅんです でも汚すとシュンです	森川 裕太	東ソ一㈱南陽事業所
	澄んだ水 未来に残そう 澄んだ心で	松田 泰弘	東ソ一㈱南陽事業所
/+ / <i>L</i>	防ごう 地球の動脈硬化 河川の流れ さらさらに	小川 司	東ソ一㈱南陽事業所
佳作	環境守る温かさで エコ桜を満開に 地球に春を	濵田 征訓	㈱東ソー分析センター
	明日の為 未来の為に リサイクル	井上 正美	東ソー・エスジーエム(株)
	行動1つを変えていき 今よりきれいな自然を作ろう	今井 優	東ソー・エスジーエム(株)
	ゴミ拾い きれいになった 君の心と瀬戸内海	河村 正太	日鉄ステンレス㈱製造本部 山口製造所周南エリア
	ポイ捨ては 未来の子供に 投げている	矢野 春二	日鉄ステンレス㈱製造本部 山口製造所周南エリア
	予防しよう! 母なる地球の 熱中症	岩枝 義章	日鉄ステンレス(株製造本部 山口製造所周南エリア
	帰る前 海の声をきいてみて 「また来てね」って言われてる?	宮崎 太佑	協和発酵バイオ㈱山口事業所
	考えて 出していいゴミ ダメなゴミ 分別作業でつなぐ未来	井手 孝幸	テルモ山口(株)
	瀬戸内から世界へ 届けようきれいな海を 広げよう地球を思う心を	藤永 祐太	宇部興産㈱宇部セメント工場
	脱プラに取り組み減らそう海のゴミ	松尾 典治	田辺三菱製薬工場㈱小野田工場

賞	作品	氏名	所属等
	浜のごみ みんなで清掃 幸福度100%	末富 政夫	西部石油㈱山口製油所
	今から ここから 自分から 始めよう環境保全	竹内 信介	西部石油㈱山口製油所
	やめようポイ捨て 未来に残すな 負の遺産	横田 英優	西部石油㈱山口製油所
	窓を開け 心と地球をいやす 虫の声	深町 英司	小野田化学工業㈱小野田工場
佳作	不法投棄 捨てるはゴミより その気持ち	竹内 智貴	小野田化学工業㈱小野田工場
1±1F	気付いたその時 ECO開始 小さいことでも 変化のチャンス	大江 好子	中電工業㈱新小野田営業所
	誰もがみんな環境大臣 取り戻そう昔と変わらぬ あの景色	中尾 潔	NGKエレクトロデバイス(株)
	まあいっか 他人任せが汚染源	砂原 脩也	㈱神戸製鋼所長府製造所
	限りある資源 未来へ繋ぐ リサイクルのバトン	山﨑 吉真	㈱神戸製鋼所長府製造所
	澄んだ水 海の守り手 未来につなぐ あなたの手	石川 清美	一般



令和3年度「やまぐちプラスチックごみ削減フォトコンテスト2021」 プラスチックごみ削減取組部門 優秀作品 撮影者 髙橋 里菜

令和3年度環境保全川柳入選句

【選者 山口県川柳協会 会長 大場孔晶】

賞	作品	氏名	所属等
金	美しい 海のつくり手 森と人	角 恵美子	一般
銀	川遊び 笑顔とゴミを 持ち帰る	中川 真由美	日本製紙㈱岩国工場
	コロナ後も マスク外せぬ 世にするな	吉野 秀行	NGKエレクトロデバイス(株)
	便利さの 裏にエゴあり プラの山	星野 尚行	三井化学産資㈱
銅	清い川 保つ心を 子に伝え	中村 守	NGKエレクトロデバイス(株)
	ありがとう 繋ぐよ僕も 青い海	永島 孝秀	㈱神戸製鋼所長府製造所
	清い川 思い出だけに したくない	小田 謙一	日本製紙㈱岩国工場
	残したい 海の母親 清い川	久重 尚輝	日本製紙㈱岩国工場
	コロナ禍で 距離を保って ゴミ拾い	田中章寛	日本製紙㈱岩国工場
	澄んだ水 清い心に 比例する	久保 充史	日本製紙岩国サポート㈱
佳作	取り組もう ステイホームで できるエコ	竹田 修	日鉄ステンレス㈱製造本部 山口製造所光エリア
IE IF	エコマナー 感じる町に 未来あり	一條 秀太	東洋鋼鈑㈱下松事業所
	自粛期間 ゴミの分別 楽しもう	前田 智也	東洋鋼鈑㈱下松事業所
	湧き水に 集う命の 美しき	野村富士恵	東ソ一㈱南陽事業所
	夕暮れの 水面の先に 見る未来	松本 洋二	東ソ一㈱南陽事業所
	育もう 未来に誇る 瀬戸の海	鈴木 孝生	東ソ一㈱南陽事業所

賞	作品	氏名	所属等
	ヤドカリの 背中のゴミを 笑うタコ	佐伯 涼太	日鉄ステンレス(株)製造本部 山口製造所周南エリア
	飛び込めば 身体染入る 瀬戸BLUE	小田村 裕文	宇部興産機械㈱
	ゴミ拾う お礼にホタル 大演舞	品川 司	宇部興産㈱宇部セメント工場
	ポイ捨ての マスク最後は 海の中	中島 康之	西部石油㈱山口製油所
佳作	「キレイだね」 言われたいなと 泣く海よ	大島 徹也	西部石油㈱山口製油所
1至1F 	大物だ 長靴履いた タコが釣れ	木村 浩司	中電環境テクノス㈱新小野田事業所
	エコ意識 守ってなくす ゴミの密	深川 義寿	NGKエレクトロデバイス(株)
	ふるさとの 川の清さは 通知表	曽我 真太郎	中国電力㈱下関発電所
	水の森 復活の瀬戸 いのちあれ	金﨑 洋	一般
	汚さない 自然を生かす 思いやり	中村 好徳	一般



周南市三ツ石海岸

令和3年度「やまぐちプラスチックごみ削減フォトコンテスト2021」 環境保全活動部門 最優秀作品 撮影者 藤井 光雄

環 境 学 習 教 材

利 用 案 内

··-·-·- 問い合わせ・申し込み先 ·-·-·-

環境学習推進センター

教材:パネル、図書、DVD、CD、紙芝居、その他(雑誌は閲覧専用)

〒754-0893 山口市秋穂二島1062 セミナーパーク内 公益財団法人 山口県ひとづくり財団

TEL 083-987-1110

FAX 083-987-1720

E-mail kankyo.c@hito21.jp

URL https://eco.pref.yamaguchi.lg.jp/learning/index.php

<教材の申し込みにあたって>

- ◇貸し出している場合がありますので、事前に電話やメールでご確認ください。
- ◇利用申込書は、下記ホームページからダウンロードできます。

https://eco.pref.yamaguchi.lg.jp/learning/shiraberu/kyozai/index.htm

みずべ山口 No. 3 9

令和4年3月

山口県瀬戸内海環境保全協会

〒753-8501 山口市滝町1番1号 山口県環境生活部環境政策課内 TEL 083(933)3038 FAX 083(933)3049